

超音波探傷試験 レベル2 訓練内容(UT2)

訓練内容	訓練内容題目	訓練内容別 必要訓練時間		訓練内容 PART1コース (講義5日間)		訓練内容 PART2コース (講義+実技5日間)	
		講義	実習	講義	実習	講義	実習
序論	NDTの目的、用語、歴史	3.00		3.00		1.00	
	超音波探傷試験に関する規格						
超音波の伝搬と音場, きずによる超音波の反射	超音波に関する基礎	9.00		9.00		1.00	
	波の種類						
	反射, 通過と屈折						
	超音波ビームの特性						
製品知識と探傷技術	きずによる超音波の反射	3.00		3.00		1.00	
	超音波探傷方法						
	製造プロセス及び供用中に発生する 様々なきず						
装置	対象となる適用品	9.00	3.00	9.00		1.00	7.00
	各種探触子とケーブル						
	探傷器						
	接触媒質						
探傷準備	標準試験片及び対比試験片	3.00		3.00		1.00	
	仕様書, NDT手順及びNDT指示書						
	試験体のきずの発生予測						
	探傷条件選定						
検査	適用される検査規格	8.00	6.00	8.00		1.00	10.00
	探傷器の調整						
	標準試験片と対比試験片						
	直接接触法(垂直及び斜角)						
	水浸法(垂直)						
評価及び報告	測定範囲の調整及び感度の調整	3.00	12.00	3.00		1.00	15.00
	きずの検出と測定						
	きずの評価・分類						
	きずと疑似指示の区別						
検査の品質	超音波指示の解釈と評価	2.00		2.00		1.00	
	技術者の資格						
	機器の検証						
		40.00~59.00	21.00~40.00	40.00	0.00	8.00	32.00
		80.00		40.00		40.00	